



2022年10月7日

各 位

会社名 株式会社カンセキ
代表者名 代表取締役社長 大田垣 一郎
(コード番号：9903 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 経理部長 熊澤 達郎
(電話 028-659-3112)

非連結決算への移行及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当社完全子会社である連結子会社2社との吸収合併により2023年2月期第4四半期より非連結決算に移行いたします。また、最近の業績の動向を踏まえ、下記のとおり、2022年4月13日付の「2023年2月期決算短信」にて公表した2023年2月期業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 非連結決算への移行理由

当社は、2022年9月22日付「連結子会社の事業譲渡及び特別利益の計上並びに連結子会社2社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社は、昨年発生しました不正行為に対する再発防止策の一環としてガバナンス体制強化及び事業効率の改善を図ることを目的として、当社を吸収合併存続会社とし、当社の完全子会社である、損害保険代理店業務を行うバーン及び不動産賃貸・管理事業を営む茨城カンセキの2社をそれぞれ吸収合併消滅会社とする各吸収合併を行うことといたしました。

その結果、当社は連結子会社が存在しなくなりましたので、2023年2月期第4四半期より非連結決算へ移行することとなりました。

なお、非連結決算への移行に伴い、2023年2月期有価証券報告書及び2023年2月期通期決算短信への連結財務諸表の開示は致しません。

2. 2023年2月期通期連結業績予想（2022年4月13日公表）の取下げについて

2023年2月期第4四半期より非連結決算へ移行することになりましたので、2022年4月13日に公表いたしました通期連結業績予想を取下げます。

3. 2023年2月期第2四半期（累計）連結・個別の業績予想の修正について

2023年2月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2022年3月1日～2022年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	20,520	1,280	1,250	820	117.99
今回修正予想（B）	19,223	874	848	525	74.64
増減額（B－A）	△1,297	△406	△402	△295	
増減率	△6.3%	△31.7%	△32.2%	△36.0%	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2022年2月期第2四半期）	19,967	1,290	1,265	851	122.58

2023年2月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2022年3月1日～2022年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	20,510	1,270	1,240	810	116.55
今回修正予想（B）	19,213	863	837	518	73.64
増減額（B－A）	△1,297	△407	△403	△292	
増減率	△6.3%	△32.0%	△32.5%	△36.0%	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2022年2月期第2四半期）	19,957	1,283	1,259	847	121.94

4. 2023年2月期通期個別業績予想の修正について

2023年2月期通期個別業績予想数値の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	41,810	2,570	2,520	1,630	234.55
今回修正予想（B）	38,440	1,390	1,330	780	110.70
増減額（B－A）	△3,370	△1,180	△1,190	△850	
増減率	△8.1%	△45.9%	△47.2%	△52.1%	
（ご参考）前期実績 （2022年2月期）	40,831	2,363	2,355	△187	△26.97

5. 修正の理由

ホームセンター事業においては、新型コロナウイルス感染予防対策のための衛生用品など、日用品や家庭用品の動きは落ち着きつつありますが、ペット用品、植物・園芸用品などの販売は引き続き堅調に推移しております。原材料の高騰などによる商品価格の値上げにより客単価は上昇いたしました。値上による消費者心理への影響があり売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

WILD-1事業においては、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限緩和により消費者趣向が多様化した影響から、主力のキャンプ関連用品において前年同四半期の売上を下回りました。また原材料費高騰や急激な円安の進行等の影響により、粗利益率も低下いたしました。

以上の理由により、第2四半期累計期間の業績は前回予想を下回る結果となりました。

また、第3四半期以降につきましては、原材料・エネルギー価格の高騰や急速な円安の進行、商品価格のさらなる値上げなど先行きの不透明な状況が続くと思われることから、通期の個別業績予想数値を上記のとおり修正いたします。なお、2023年2月期通期個別業績予想については、当社完全子会社である連結子会社2社との吸収合併による特別利益（抱合せ株式消滅差益）の概算額を見込んでおりますが、その影響額については確定次第公表いたします。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、これらの予想数値とは異なる可能性がございます。

以 上